

K A W A K A M I D A M 2007
川上ダム通信 7月号

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

藤原千方伝説・地域おこしのお手伝い



講演会の様子

7月28日(土)に伊賀市高尾にある高尾地区市民センターで伝説上の武将・藤原千方(ふじわらちかた)に関わる講演会が開催され、地域の皆さん約90名が聴講しました。

ここ高尾地区は、川上ダム建設予定地の上流に位置し、藤原千方の伝説やそれに由来する遺跡が数多く残る地域であることから、同地区の中本区長を始めとする地域の皆さんが「千方伝承会」を結成し、千方伝説にちなんだ地域おこしを計画されています。

この講演会の講師は、富士常葉大学の竹林征三教授を招聘して行われました。川上ダム建設所では以前、竹林氏に川上ダム周辺の風土についてご指導頂いた経緯があることから、同伝承会の方々への紹介や資料配布などお手伝いを行ったものです。また、同時に講演会に集まった皆さんに酒井所長が川上ダム建設の現況や付替県道の工事進捗状況などを説明しました。

このように、川上ダム建設所では地域連携の一環として、出来る範囲で地元の方々の皆さんのお手伝いや機会がある毎に川上ダム建設に係る情報を積極的に発信していきたいと考えています。

【総務課長 上村信幸】



講演する竹林教授

地元幼稚園に七夕用の笹を提供～事業用地内の竹の有効活用～



笹の採取の様子

川上ダム建設所では事業用地内に自生している竹を有効活用しようと、七夕を控えた7月3日(火)、4日(水)の両日、事業用地内の竹採取を行い、七夕飾り用の笹として地元の青山よさみ幼稚園の園児88人全員に提供しました。作業当日は、七夕会で子どもたちが楽しめるようにとの思いから、職員は笹の切り口をテープで巻くなどの気配りをしながら作業を行いました。子どもたちは早速短冊に願い事を書くなど、大はしゃぎでした。今後も地域の皆様に喜んで頂けるような取り組みを行っていききたいと思います。【第二用地課 比嘉真知子】



大喜びの子どもたち

優良工事請負者表彰!!

7月10日(火)、川上ダム建設所ふれあいホールにおいて、「平成19年度 優良工事請負者表彰式」を行いました。これは、前年度に完成した工事の中から、特に工事成績が優秀で機構事業に対する貢献度が高い工事を「総合部門表彰」、工事成績が優秀な工事の工事技術者を「個人部門表彰」、労働安全衛生への取り組みが優秀かつ無災害で完成した工事を「安全部門表彰」として表彰するものです。



表彰式の様子

審査の結果、今年度は、総合部門で東興建設(株)が受賞されました。同社は、適切な施工管理を行うとともに、自主的にカーブミラーを設置するなど一般車両と工事車両との交通事故防止に努められました。また、供用開始されている県道松阪青山線の除草を自発的に行うなど、環境美化にも努められました。【工務課 飛弾誠二】

上野農高生が川上ダム建設所で実習



実習風景

7月23日(月)~27日(金)の5日間、川上ダム建設所に上野農業高校から青木君が校外実習生として来ました。実習内容はダム本体のコンクリートの材料として近くの山から採取する岩石(※骨材といいます)の量がどれくらいあるのかを図面を描いて計算するというものです。この他に、川上ダムの建設予定地に生息する国の天然記念物であるオオサンショウウオの保護施設の見学やここでふ化したオオサンショウウオ(幼生)の定期測定の手伝い、ダムの地質調査用トンネルに入り地質の勉強、道路排水路の設計、施工現場で密度管理試験の実習、高山ダムにおいて管理の仕事を見学するなど、短い時間でしたが様々な実習をしてもらいました。【工務課 飛弾誠二】

実習生にインタビュー

○実習を終えた感想は？

色々な課(工務課、工事課、環境課、調査設計課)を回って、それぞれ違った内容の研修をさせてもらいました。とても勉強になりました。

○実習で印象に残った思い出は？

現場に出たことと、オオサンショウウオの測定が印象に残りました。職員の方は接しやすく、楽しく研修することができました。本当に来てよかったです。



青木君と職員で記念撮影

適正な業務で事業所表彰受賞

7月10日(火)に川上ダム建設所が青山理事長から事業所表彰をいただきました。今回の表彰は、平成18年度において、関係する公共機関と情報を共有しながら職員一丸となって事業を進捗させたことが他の事業所の模範になると評価されたものです。

今年度は、ダム本体着工に向けて、淀川水系河川整備計画に川上ダムを位置づけるために事業計画に関係機関と連携して確定させていく重要な年です。コンプライアンス(法令遵守)に留意しながら一刻も早いダム本体着工・完成を目指し、引き続き適正な業務執行に努めて参ります。【第一用地課長 河田洋弥】

ISO14001の効果的な運用を！～所内で講習会を実施～



講習会の様子

川上ダム建設所では、平成19年3月にISO14001の認証を取得し、今年度より本格的に実施運用しています。職場にいるほぼ全員が参加し、7月23日（月）に外部講師の方を招き、所内で講習会を開催しました。

今回の講習会は平成18年11月～平成19年3月までの運用結果に基づき、実施計画の見直しを行い、新たな段階に入ったことにより、職員の意識の更なる向上に努めたものです。

普段から何気なく理解しているつもりで運用していることも、実は理解出来ない部分があったことに気づき、今回の講習会を受けて更に認識が深まったものと思います。

【第二用地課 藤好健太郎】

新技術の紹介

発泡ビーズ混合軽量土工法

今回は発泡ビーズ混合軽量土工法について紹介します。

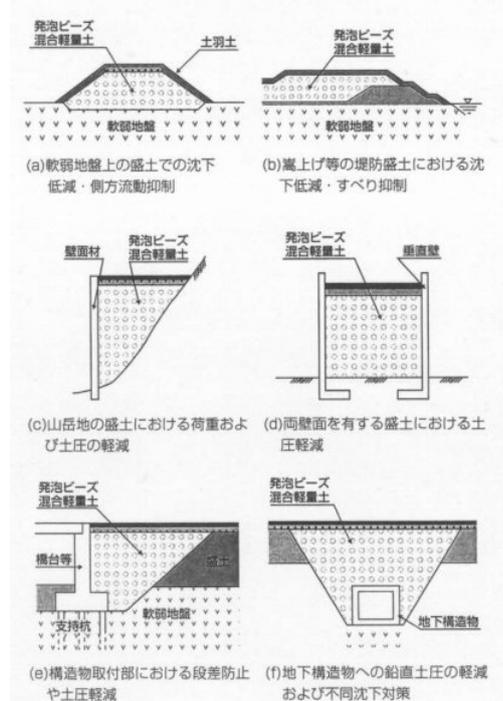
盛土材料として、EPS（ブロック状の発泡スチロール）を使用するのではなく、粒状の発泡ビーズと土砂を混合したものを使用します。この工法の特徴は吸水性が微量であるため長期の軽量が保て、浮力対策工を必要とせず、土と同様の範囲で沈下・変形に追従できることです。

設計に際しては、通常の土砂と同様の取り扱いが可能で、施工は通常の方法で行い、特別な機械を必要としません。

この工法を使用することにより経済性の向上や工期の短縮が望めます。

この工法は軟弱地盤上や山岳道路での盛土、堤防の嵩上げ等に適用できます。

【国土交通省ホームページ：新技術情報提供システム（NETIS）より参照】



第13回

成育のはなし（その2）

孵化したオオサンショウウオの幼生のくびの左右両側には鰓（えら）があり、魚と同じように鰓で呼吸します。ただし、大半の魚と違って、鰓はからだの外側に付いているので、外鰓（がいさい、そとえら）



平成16年生まれで2年目のオオサンショウウオの幼生 (H18.4.11撮影)

ちよつとオオサンショウウオ！

と呼びます。この外鰓は、幼生が成長するとともに段々と退化し、やがて消失して、鰓孔（えらあな）がふさがり、オオサンショウウオの成体へ変態が完了します。成体では、肺呼吸と皮膚呼吸になります。

幼生は、孵化してから1年間は全身が黒くてなめらかな皮膚をしています。1年が過ぎる頃から、からだの色が黒から茶褐色へと変化して、黒い斑点が表面に現れてきます。この紋様は、固有のものなので、オオサンショウウオの識別にも役立ちます。

【環境課長 大村朋広】

川上ダム事業進捗状況の紹介 付替県道松青線5号橋上部工工事

今回は「付替県道松青線5号橋上部工工事」について紹介します。
この橋の長さは、27mで幅8mの鋼製の橋です。施工方法は、
工場で橋桁を製作し現地で組み立てます。橋の設置方法は、クレーン
により吊り上げて設置します。予定では、11月末まで工場製作を
行い、それ以降は現地での架設となり、完成は2月末となっています。

今後も十分安全に努め工事を行ってまいりますので、皆様のご協
力のほどよろしくお願いいたします。

【工事課 金澤佑樹】



完成予想図

連載企画 第1回



千方窟

ちかた 藤原千方伝説地探訪

〈千方窟〉

千方窟は、木津川支流のまゑふかせがわ前深瀬川から10kmほど上
った旧青山町高尾の山中にあります。千方の本拠に
なった岩城（千方城）があった幽谷の地で、千方将
軍が朝廷軍と戦ったとされる場所です。千方窟は忍
者発祥の地とも言われています。

※千方窟周辺遺跡への行き方

近鉄青山町駅から高尾行きバス25分高尾保育所前
下車徒歩1時間

EVENT

第7回 河川環境フェスティバル

- 日時／8月4日（土）9:00～11:30
- 場所／伊賀市青山支所北側木津川河川敷
- イベント／・アユのつかみどり
（参加費100円、※お皿・お茶などは各自持参）
・環境パネル展示

第23回桐ヶ丘夏祭り

- 日時／8月4日（土）17:00～
- 場所／桐ヶ丘団地内公園

第23回 青山夏まつり

- 日時／8月5日（日）15:00頃より～21:30
- 場所／伊賀市青山支所駐車場

市民夏のにぎわいフェスタ 2007

- 日時／8月18日（土）12:00～21:00
- 場所／上野銀座通り及び本町通り周辺

編集後記

ハーモニー・フォレスト
～Artist in Residence at
IGA 2007～が始まりました。
川上ダムの工事現場の石を使
った芸術もあり、今から完成が楽しみです。

【広報誌発行事務局】

- | | | |
|------|-------|------------|
| 編集長 | 酒井 進 | （川上ダム建設所長） |
| デスク | 上村 信幸 | （総務課長） |
| 〃 | 北牧 正之 | （工務課長） |
| 通信記者 | 武村 剛泰 | （総務課） |
| 〃 | 立石 浩行 | （調査設計課） |
| 〃 | 磯野 正典 | （環境課） |



ISO14001 : 2004
JQA-EM5769

☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハ
ガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進
しています。この広報紙は古紙配合率100%再生紙を使用
しています。◇